

◎ 今日のプログラム 第1884回 (2月7日)  
善行生徒表彰

◎ 前回のプログラム 第1883回 (1月31日)  
内部卓話 泉 圭一 会員卓話



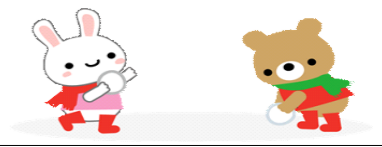
【内部卓話 泉 圭一 会員】

今日は長期国際交流について伊予RCの流れや地区の流れをお話します。伊予RCは1979年昭和54年に創立し39年。設立4年後から長期交換留学を始め、毎年やっていたら39名の派遣となるが2002年から隔年になった。このころ私が長期国際委員長をしていて、いつも同じ方にホストファミリーをお願いせざるを得ない。ホストファミリーの問題は伊予RCだけの問題ではない。そんな中で当時一番長老であり熱心であった谷岡さんに相談し1回外に出してみるという話もあり色々な意見があったがメンバーも増えた中で続いている。伊予RCは5100地区区チャック伊藤さんを窓口とし交換留学をしているが、チャックさんから伊予RCとの交換留学はずっと続けていきたいが2年に1回でどうかと問い合わせがあった。その当時日本に来たいと希望する人が少なくなってきていた。その中で伊予RCとも続けたいがいくつかある中で神戸と伊予RCを1年交代ですれば続ける事が出来ると2年に1回という事になった。それからもらった手紙の紹介。昨年伊予農業高校で愛媛県高等学校国際教育研究発表会が行われ「マヤもチャレンジ」という題目でスピーチをした。はっきりしてないが8月7日に東京で選ばれればスピーチをする事になっている。そしてマヤの代わりに行っているのが玉岡さん。玉岡さんの選考が私が国際奉仕委員長で11月の末までに送り出す生徒が決まっていれば12月の最初のオリエンテーションに間に合いそれから色々な書類を作るという段取りになるが、募集する時はレトリ-内の高校生で伊予市と松前町の広報誌に募集をかけるようにしている。10月の掲載が間に合わないと言われ広報誌は諦め松山・伊予市管内全ての高校に募集要項を送った。伊予農業高校と伊予高校には持参し詳細を説明した。非常に学校の先生達は興味を持って頂き、松山西中等高校は非常にいい制度なので是非募集させたいが2名でもいいかと問い合わせがあったが結局最後に出てきたのは聖かりけ高校の男の子1人と玉岡さん。面接をして厳選した中で玉岡さんに決定。お父さんは行く前日まで辞めたと言ってくれたらいいのにと。行った後は非常に寂しい思いをしたという事があった。行けば英語がなかなかついていけないという事で、30数名の5100地区から送る中で3,4名の日本人が来る。他国の学生は殆ど英語ができる。一生懸命していてもヒアリングができないし、ついていけない。それが今のアウトバウンド・インバウンドの状況。ライズエックの事について説明。青少年交換プログラムは基本的にクラブ対クラブのプログラムですが現実的には地区対地区のプログラムで世界的に展開。伊予RCとマヤのクラブの交換が基本的になるが5100地区と2670地区の地区の委員長同士がキヤンティフォームの確認をして交換するのは難しいので最初に立ち上げられたのがライズエック(ガバナ-会青少年交換委員会)そこで全国の交換留学を仕切っている。しかし途中で青少年交換の事について問題が出てきて国際ロータリーがボランティア誓約書をきちんと作らなければ日本に留学させないと条件を付けてきた。もう一度きちんと統一して日本青少年交換委員会を立ち上げようというライズエックを作った。ここで全員統一した保険に入ってもらおう。マヤが来た時もライズエックの指定する保険に入ってくる。玉岡さんがいく時には5100地区が指定する保険に入ってもらおう。全てライズエックという所で統一して把握するようになった。地区の事も含めライズエックに報告しながら進めている。最後にサブリ-について、2年前の留学生で非常に優秀で8月のオリエンテーションの時から日本語で自己紹介をしていた。12月の高等学校のスピーチでも自分で文章を書き暗記してスピーチをした。地区大会でもサブリ-がスピーチした。7月のオリエンテーションの時にガバナ-が来て最後の報告をしているが、他の留学生はパワーポイントを使ったりしながら報告するがサブリ-はパソコンなどなくスピーチをし始めた。本人いわく私は勉強も出来きスポーツも出来て学校でも最初は目立った存在だった。ある時からそれが疎ましく思われたのかいじめに合いました。学校でも家でも居場所がなくなりずっと1人で泣いていた。自殺までしたいと思っていた、その時に留学制度があるのを見つけ応募したらそれに受かり留学生となり日本に来た。日本でホストファミリーやロータリーの人達とか学校の人達と仲良くしてもらい色々な事を教えてもらい強くなれた。強くなれたから帰っても挫けず負けないでこれから頑張ると言っていて、その場にいた委員の方は泣きながら声をかけていた。留学生の世話をしてくれていたなと思いました。行って帰ってたくましく、留学を通じて人生が変わりこれから色々な人の人生に役立ってもらおうそんな人になってもらえるといいなと思う。以上です。

◎会長報告  
先週の土曜日に第2回目のロータリー情報委員会が児玉さんの所でありました。14名の方が出席して頂きお疲れ様でした。講師は藤井健夫会員と日野隆充会員。内容は藤井会員はロータリーの基本は親睦と例会出席これが非常に大事になってくる。ロータリーでいう親睦はどういう事かという例会場で皆さん職業が違うわけですから、その業界の情報とか自分の経営するノウハウをやりとりする。それを持ち帰って自分の仕事に生かすそういう例会は情報交換の場として非常に大事だと。だから例会に出席する事が大事になってくる。それであと、例会で色々な話をする場合に皆業種が違った方が話しやすいだろう。1業種1会員制という事で同業者がいない方がいいという事でこれはあくまでも守っていかなければいけないのではないかなと思う。伊予RCもできるだけ1業種1会員という事で頑張っていきたいと思っています。例会出席は今日のがバナー月信にも出ていますが非常に伊予RCは優秀で第2分区では常時トップを走っておりますし、100%に近い例会出席ですので、その意味からいうとロータリーの基本、例会出席を守っているという事で素晴らしいものだと思います。副会長の日野さんは4つのテストについて誕生した経緯や職業奉仕する際の4つのテストの具体例等を上げて頂いて分かりやすく説明して頂きました。1954年にRI会長に4つのテストを作ったハーバートテイラー氏が就任した時に4つのテストの版權を国際ロータリークラブに遺贈して頂いた。ロータリーの会員の皆様が職場などに4つのテストを掲示している分はいいですが、退会した場合はそれを掲示していると違反になるそうです。あまりよくないのではないかなと思います。今日はこれで終わります。

◎マヤ1分間スピーチ  
今晚は、土曜日に伊予鉄リ-クでアイススケートをしました。スケートがあまり上手ではありませんが楽しかったです。フィギュアスケートはとても綺麗だと思います。テレビで見ていて楽しいです。私はスキーの方が得意です。7月には1か月に5回位スキーをしました。日曜日に化学博物館に行きました。宇宙と生体生物学と動物の展示がありました。それから新居浜に行ってパレンティンを買いました。パレンティンの日に学校で友達にあげます。今日は伊予農業高校の3年生の最後の日でした。ありがとうございました。

・ミリオンダラーミール②贈呈 財団委員長へ



◎幹事報告

・例会変更	松山西RC	2/6 定例夜間例会 18:30~	道後 友輪荘
・回覧書類	八幡浜RC	3/4 (日) 創立50周年記念式典	出欠表
・配布書類	大洲RC	1Mのお礼状	
・会報委員会	会報委員会	週報1882回	
・楸クマヒラ	楸クマヒラ	抜粋のつづり	
・ガバナ-事務所	ガバナ-事務所	ガバナ-月信2月号	
・次年度会長、幹事		2018-19年度	理事、役員、委員名簿

◎ニコニコ箱

新・藤井(健)・林・日野(猛)・今井・井上・門田 城戸・児玉・窪田・見乗・向井・森・永井・西岡 小田・奥島・大政・大森・大野・仙波・高畔・武智 高橋(宏)・武市・上本・渡邊	27名	27,000円
---	-----	---------

◎出席報告

1月31日	出席数	32名	欠席数	4名
	ビジター	0名	出席率	88.57%
1月17日	出席数	35名	欠席数	6名
	メークアップ	6名	修正出席率	100%

◎ビジター

◎ 次回のプログラム 第1885回 (2月14日)  
内部卓話 大政 裕志 会員卓話

伊予RCホームページアドレス <http://iyo-rc.com/>